

できることは自分で。 その思いをしっかりと支えます。

従来とは真逆の手すりを“引く”という画期的な発想から生まれた「ラ・クリップ」。ベッド用の経験と技術を活かし、トイレでの動作・介助に特化した新シリーズが誕生しました。

トイレでの動作を支えるこの介助ポールがあれば、使う人、介助する人、どちらの負担も軽減され、自立への一歩が踏み出せます。



どこでも掴みやすい三次元構造

ポールは両手で掴みやすい曲線に。力がしっかり加わり体が安定するため、立位保持もラクに行えます。

安全な設計

一筆書きのシンプル構造は、安心かつ安全なスタイルです。

カバー(発泡ゴム)
ポール(ステンレス製)

グリップボール

滑らない、冷たくない 発泡ゴムカバー

ステンレス製ポールを発泡ゴムで被覆。どこを握っても滑りにくく、冷たくありません。

右壁取り付け用と 左壁取り付け用を ご用意

室内の状態に合わせて選べます。
※写真は左壁取り付け用

化粧カバー
(内側に鋼板ベース)

※写真は右壁取り付け用

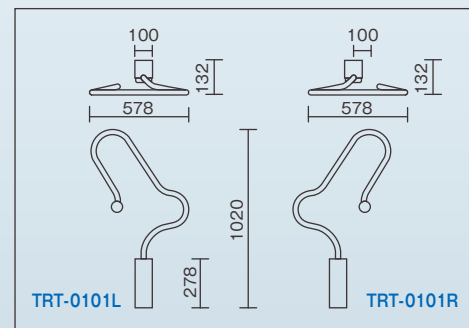
ラ・クリップ
トイレ用の動作を
動画でチェック!



製品仕様

品名	左壁取り付け用	右壁取り付け用
型名	TRT-0101L	TRT-0101R
取付位置	便座から見て左側に取り付け	便座から見て右側に取り付け
総重量	5kg	
サイズ	高さ1003×幅578×奥行132	
ポール	ステンレスパイプφ32 発泡ゴムカバー(φ40)	
鋼板ベース	鋼板塗装仕上げ	
化粧カバー	鋼板塗装仕上げ(高さ278×幅100×奥行53)	
グリップボール	エラストマー樹脂 1個	

外観図



手術後の早期回復、介助量の軽減に期待ができます。



名古屋市立大学整形外科
准教授 野崎 正浩

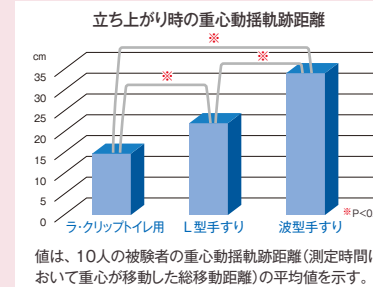
ラ・クリップは大変ユニークな形状をしており、手すり部分を引っ張って立ち上がるように使用し、取っ手を押して立ち上がる従来型の手すりとは全く逆の発想に基づいて作られています。

手の力が弱い方やご高齢で足腰に自信がなくなった方が、トイレから立ち上がる際の負担を軽減し、楽に立ち上がることが可能になります。

我々の病院でも手術後の入院中の患者さんが使用した場合、立ち上がりが容易になるばかりか、スタッフの介助量の軽減にも結びつくものと大いに期待しています。

ラ・クリップトイレ用の機能分析をしていただきました!

「ラ・クリップトイレ用」、「L型手すり」、「波型手すり」を使用して排泄動作をする時の重心変動を、重心動揺計を用いて測定しました。



「ラ・クリップトイレ用」を使用すると、他の手すりを使用した時よりも、**1.2~1.5倍安定した起立動作や立位保持ができることが確認されました。**

「ラ・クリップトイレ用」は、従来の手すりに比べ、介護の必要な方の「持てる力」を効率よく引き出し、**安全・安楽なトイレでの排泄をサポートします!!**



中部学院大学短期大学部
社会福祉学科 教授

中部学院大学大学院
人間福祉学研究科 兼任教員

教授 横山 さつき

Step 1 立ち上がり



車椅子を入口に付け、足を床に降ろしてポールをつかみ、引いて立ち上がります。どこをつかんでも大丈夫。

**引き寄せやすいから
自力で立てる!**

Step 2 立位保持



ポールに抱きついたり、つかまることで安定した姿勢を保ちながら着衣を下げることができます。介助者は軽介助で支え、着衣を下げることができます。

介助もしやすい!

Step 3 着座



ゆっくりとポールを伝い便座に座ります。持ち替えたり手を離すことなく、着座動作ができます。

**少ない動作で
着座できる!**

※動作説明は右壁取り付け用です。